

5月19日の弊社ファンドの基準価額下落について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2022年5月19日、弊社運用ファンドの一部において、基準価額が前日比で5%超下落しました。以下に該当ファンドおよび基準価額の下落要因についてお知らせいたします。

1. 2022年5月19日時点で基準価額が前日比で5%超下落した公募投資信託

ファンド名	基準価額	前日比	前日比騰落率
野村クラウド関連株式投信 Bコース（為替ヘッジなし）	31,403円	-1,808円	-5.4%
米国NASDAQオープンBコース	20,879円	-1,198円	-5.4%

- ・ 基準価額は、分配落ち前の価額を掲載しています。
- ・ 騰落率は、収益分配金（課税前）を分配時にファンドへ再投資したもとして計算した騰落率です。
- ・ 当資料でお知らせする「基準価額5%超下落」の基準は、ファンドの騰落率が5%以上の下落が該当し、小数点以下を四捨五入して5%の下落となる場合は含んでおりません。
- ・ ファンドによって、投資対象市場の基準価額への反映タイミングが異なります。
- ・ 公募投資信託のうち、DC（確定拠出年金）、ETF（上場投資信託）、投資信託協会分類の特殊型（ブル・ベア型）ファンドは除外しております。
- ・ ファンド名は約款に準じており、HPの表記と必ずしも一致するとは限りません。

2. 主な市場動向について

	5月16日	5月17日	5月18日	5月19日	16日から17日の騰落率	17日から18日の騰落率	18日から19日の騰落率
日経平均株価	26,547.05	26,659.75	26,911.20	26,402.84	0.4%	0.9%	-1.9%
NYダウ工業株30種	32,223.42	32,654.59	31,490.07	31,253.13	1.3%	-3.6%	-0.8%
MSCIコクサイ・インデックス	2,784.30	2,842.55	2,749.35	2,735.70	2.1%	-3.3%	-0.5%
MSCIエマージング・インデックス	1,007.50	1,030.83	1,033.19	1,014.89	2.3%	0.2%	-1.8%
FTSE NAREIT 全REIT インデックス	238.34	241.21	234.21	232.94	1.2%	-2.9%	-0.5%
東証REIT指数	1,968.65	1,978.00	1,987.76	1,983.07	0.5%	0.5%	-0.2%
MSCI ワールド 情報技術	427.13	438.86	419.91	416.66	2.7%	-4.3%	-0.8%
ナスダック総合指数	11,662.79	11,984.52	11,418.15	11,388.50	2.8%	-4.7%	-0.3%

（出所）Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成
（注）市場の休日等の場合は前日の値を使用

為替 （対円レート、投資信託協会）	5月16日	5月17日	5月18日	5月19日	16日から17日の騰落率	17日から18日の騰落率	18日から19日の騰落率
米ドル（円／米ドル）	129.65	129.29	129.33	128.43	-0.3%	0.0%	-0.7%
ユーロ（円／ユーロ）	134.95	135.13	136.56	134.76	0.1%	1.1%	-1.3%

（注）為替についてはNDF（ノン・デリバラブル・フォワード）取引を用いているコースもあり、必ずしも上記の為替レートの変動と一致しない場合があります。

18日に米ディスカウントチェーン大手が2022年2-4月期決算を発表、決算内容が市場予想を大幅に下回ったほか、今期業績見通しも下方修正したことで、同社株価が大幅下落しました。また、前日の17日には米小売最大手が同じように今期業績見通しを下方修正して株価が大幅下落していました。決算説明によればインフレや供給網の混乱に伴う大幅なコストアップが原因としており、また、しばらくはこの状況が続きそうだと説明しました。市場は、業績悪化が個社要因ではなく、他の業界や企業にも同様の悪化が広がるリスクを警戒し、消費関連株だけではなく、ハイテク株などにも売りが広がり、米国株式市場が全面安となりました。

また、米国景気の悪化懸念からこれまで上昇基調にあった米ドル円相場が円高米ドル安に転じ、米国株式の円換算値がさらに下落しました。

以上

当資料は参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込いただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

【ご参考資料】

野村アセットマネジメントからのお知らせ

■ご注意

下記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をご覧ください。

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■投資信託に係る費用について

以下の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

2022年5月現在

ご購入時手数料 《上限3.85%（税込み）》	投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。 投資信託によっては、換金時（および償還時）に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。
運用管理費用（信託報酬） 《上限2.222%（税込み）》	投資家はその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。 *一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 *ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
信託財産留保額 《上限0.5%》	投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記の他に、「組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

商号：野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会／
 一般社団法人日本投資顧問業協会／
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当資料は参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込んだくにあたっては、販売会社よりお渡す投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。